

## 大学入学共通テストの出願

大学入学共通テスト（以下、共通テスト）は、各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。毎年1月中旬の土・日の2日間に全国で一斉に実施される試験で、今年度は、新学習指導要領に対応した2回目となっています。約50万人が受験する試験で、国公立大入学試験の1次試験の意味合いがあります。また、私立大の多くが、得点を合否判定に利用する入試方式を採用しています。本校3年生では、214人（93.4%）が受験予定となっています。

1、2年生も、是非、今から意識しておきましょう。

2026年度は、令和8年1月17日（土）18日（日）の2日間行われ、以下の表は、共通テストの出題教科・科目についてのものです。

3年生の対象生徒に向けての出願に関する説明会は、令和7年8月29日（金）5、6校時に行われます。

共通テストは、すべてマークシート方式で行われ、各教科科目とも、知識・技能のみだけでなく、思考力・判断力・表現力等も問われる出題となっています。

### <令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目>

※2025年6月時点の情報です。

出題教科・科目		試験時間(配点)
国語	『国語』	90分(200点)(注1)
地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』 (a)	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(注3)(うち解答時間120分)(200点)
数学①	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ』	70分(100点)
数学②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	70分(100点)
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(注3)(うち解答時間120分)(200点)
外国語	『英語』	【リーディング】80分(100点) 【リスニング】60分(注4)(うち解答時間30分)(100点)
	『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	【筆記】80分(200点)
情報	『情報Ⅰ』	60分(100点)

(注1) 『国語』の分野別の大問数及び配点は、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点(古文・漢文各45点)とする。

(注2) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおり。

- ・(b)のうちから『地理総合, 地理探究』を選択する場合、(a)では『歴史総合』及び『公共』の組合せ
- ・(b)のうちから『歴史総合, 日本史探究』又は『歴史総合, 世界史探究』を選択する場合、(a)では『地理総合』及び『公共』の組合せ
- ・(b)のうちから『公共, 倫理』又は『公共, 政治・経済』を選択する場合、(a)では『地理総合』及び『歴史総合』の組合せ

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

(注4) 【リスニング】は、音声問題を130分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、【リスニング】を受験することはできない。

入試科目・配点は、共通テスト・個別学力検査（2次試験）とも大学により異なります。共通テストの中で、多くの国公立大学が共通テストで**6教科8科目**を課します。なお、この6教科8科目の構成は、大別すると次の3つのパターンに分けられます。

（文型） 外・数2・国・理・地公2・情（数2が必須でないパターンも含む）

（理型） 外・数2・国・理2・地公・情

（選択型） 外・数2・国・情必須、理・地公から3（数2が必須でないパターンも含む）

国公立大学でも、少ない教科・科目数で受験できる大学はありますが、受験科目を絞れば、負担が減る代わりに、志望校の選択幅が狭まり、その完成度の要求が高まります。**国公立大学志望者は6教科8科目に対応した学習を基本**と考えましょう。また、**私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が一般的**です。さらに、科目選択時に、数学、理科、社会の選択には、注意が必要です。

**大きな変更点として、本年度より、出願が郵送ではなく、WEBとなります。**それに伴って、受験票の写真の準備、受験票や個別試験に関する必要書類については、各自、マイページからプリントアウトすることになります。（3年生向けには、過日、説明会を行い、マイページを作成しました。）

WEBの出願期間で、自分が受験する教科科目を登録します。各大学が受験を求めている教科・科目を受験していない場合、受験資格を失うことになるので、注意が必要です。

テスト結果については、直後に**自己採点**を行い、その結果と、個別試験の内容を総合的に判断し、出願する大学を決めることになります。成績開示がありますが、これは請求した生徒に、後日示されることとなります。従って、マーク式の模擬試験では、実際の点数と自己採点結果がずれないように意識しておくことが大切です。

各大学で実施される個別学力検査（2次試験）は2月下旬から行われます。

## 模擬試験を有効に活用しよう

全学年で、7月に実施した模試の結果が出ました。

模擬試験は、**現在の自分の学習の「定着度」と、全国での「位置」を知る**機会です。その結果を現実として、冷静に受け止めてください。そして、これからの行動へつなげることが大切です。場合によっては、**学習の方法、生活そのものの見直し**を考える必要があります。特に、3年生は、これから、模擬試験が続きます。必ずしも結果が伴わなくても、**安易に志望を下げずに、自分を信じ、目標達成に近づけてください。**

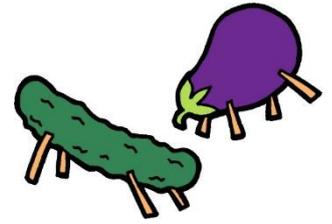
結果では、全国偏差値、校内順位、志望校判定を重要視しがちですが、是非、**各教科の「設問別成績」、「教科バランス」**に注目してください。

「設問別成績」については、その分野が、全国平均や同一大学志望者の平均と比較してどうなのかを見てください。

「教科バランス」については、得意教科、苦手教科のバランスを見てください。中でも、**苦手教科は伸び代が大きい**とも言えます。

特に1、2年生について、**英語**が、文型、理型を問わず、重要な教科であることを再確認しておきましょう。3年では、英語以外の教科に時間が割かれます。英語が苦手な生徒は、至急、対応を考えましょう。3年生については、今後、理科、社会の伸びが、鍵を握ることを踏まえ、受験計画を再考しておく必要があります。

**一般試験で合格できる力をつける努力が大切**ですが、該当校が第1志望であり、総合型や学校推薦型などの受験方法が、自分に有利な場合は、柔軟に考えていくことが必要です。それは時期や状況によって、優先順位が変わってくることになります。



## 看護出前講座実施

8月5日（火）14:30～15:50 本校視聴覚室において、3年生の看護医療系の希望者対象に、ポラリス保健看護学院教務主任の横田幸恵氏をお招きし、**看護の仕事**について御講演いただきました。

24名が参加し、看護という仕事の意義とその素晴らしさについて、ビデオの上映、注射の体験も含め、再確認をしました。